

様式 2

令和5年度 墨田区立第四吾孺小学校 経営計画書

校長名 清水 雅也

学校目標	◇健康で心豊かな子 ◇力を合わせてつとめをやりとげる子	◇よく考え進んで実行する子 ◇礼儀正しい子
目指す学校像	◇学ぶ力が伸びる学校 ◇連携・発信する学校 ◇安全・安心な学校	
目指す子供像	◇元気でいきいきと学び、運動する子供 ◇協力し合い、認め・高め合う、共生社会の担い手となる子供 ◇地域・社会に貢献する礼儀正しい子供	
目指す教師像	◇自ら学び、自己研鑽する教師 ◇教育公務員としての自覚をもち、保護者・地域社会の期待にこたえる教師 ◇「褒める・認める・きちんと諭す」ことができる、あたたかく、厳しく、情熱的な教師	

項目	取組目標	具体的方策	取組指標	成果指標
各教科指導等	<p>○確かな学力を向上させるために、意図的計画的な取組みを行う。</p> <p>①国語科を中心とした言語活動の充実。</p> <p>②タブレット端末の効果的な使用の推進。</p> <p>③朝学習・放課後補習等の充実。</p> <p>④読書指導、調べ学習の充実。</p>	<p>①言活活動の充実を目標とした国語科の研究授業を年3回実施する。</p> <p>②タブレット端末等のICT機器を活用したGIGA構想ステップ2の授業・学習を展開する。</p> <p>③9月より、下学年は新チャレンジ教室（週2回）、上学年は放課後補習教室（週2回）を実施する。</p> <p>④図書館司書（読み聞かせ・ブックトーク）、地域図書館と連携（団体貸し出し、見学等）し、読書及び調べ学習の充実を図る。</p>	<p>①研究授業実施状況</p> <p>4 事前研究会を含め年間3回実施</p> <p>3 授業・協議会3回</p> <p>2 授業のみ3回</p> <p>1 授業3回未満</p> <p>②ICT機器の活用状況</p> <p>4 毎日活用（週5日）</p> <p>3 週4日程度</p> <p>2 週2日程度</p> <p>1 それ未満</p> <p>③教室実施状況</p> <p>4 週2回計画通り</p> <p>3 計画の80%程度</p> <p>2 計画の60%程度</p> <p>1 計画の60%未満</p> <p>④司書、地域図書館の活用状況</p> <p>4 双方とも年間3回以上実施</p> <p>3 計画の80%程度</p> <p>2 計画の60%程度</p> <p>1 未実施</p>	<p>①②児童アンケート「わかりやすく楽しい授業」回答</p> <p>4 80%以上</p> <p>3 70%以上</p> <p>2 60%以上</p> <p>1 60%未満</p> <p>①③教員アンケート「学力・授業力向上」「ICT機器の活用」回答</p> <p>4 80%以上</p> <p>3 70%以上</p> <p>2 60%以上</p> <p>1 60%未満</p> <p>④児童、保護者アンケート「図書館、読書」回答</p> <p>4 80%以上</p> <p>3 70%以上</p> <p>2 60%以上</p> <p>1 60%未満</p>
	<p>○特別な支援を必要とする子供に対して、組織的な支援を行う。</p> <p>①連絡会議の定期開催と迅速な対応。</p> <p>②通常学級と特別支援学級、および医療的ケア児との交流によるインクルーシブ教育の充実。</p> <p>③関係諸機関との連携。</p>	<p>①要支援児の実態を把握する連絡会議を月1回実施し、適切な指導を即時行う。</p> <p>②交流授業を積極的に実施し、社会性・障がい理解等の伸長を図る。</p> <p>◇体育的・学芸的行事、特活等を中心に常時実施。共生社会の担い手となる児童を育成する。</p> <p>◇医療的ケアが必要な児童については、実施検討委員会を中心に意図的・組織的な教育活動を計画・推進する。</p> <p>③連絡会議等で困難と判断された場合、専門機関へ対応の協力を要請する。</p>	<p>①特別支援委員会開催状況</p> <p>4 月1回＋適宜</p> <p>3 月1回</p> <p>2 隔月</p> <p>1 適宜</p> <p>②学習・行事での交流状況</p> <p>4 学習・行事とも実施</p> <p>3 計画の80%実施</p> <p>2 計画の60%実施</p> <p>1 未実施</p> <p>③必要に応じて、躊躇することなく連絡し、協力を要請する。</p>	<p>①③教員、保護者アンケート「特別な支援を要する児童への対応・指導」回答</p> <p>4 80%以上</p> <p>3 70%以上</p> <p>2 60%以上</p> <p>1 60%未満</p> <p>②教員、保護者アンケート「インクルーシブ教育の充実」回答</p> <p>4 80%以上</p> <p>3 70%以上</p> <p>2 60%以上</p> <p>1 60%未満</p>

様式 2

	<p>○社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育を行う。</p> <p>①大学連携の開始。 ②地域連携の再開。 ③各種ゲストティーチャーを招聘しての授業の実施。</p>	<p>①高学年では、IU 大学、千葉大学との連携授業を各 1 回実施。 ②中低学年では、キラキラたちばな商店街との連携授業、まちおこし事業者（けんだま教室）との連携授業を実施。 ③各分野の専門家による授業を行い、児童の幅広い興味関心を涵養する。</p>	<p>①②③各授業の年間実施状況</p> <p>4 全学年 1 回以上 3 全学年 1 回実施 2 一部学年のみ実施 1 未実施</p>	<p>①②③児童、保護者アンケート「地域での学習」の回答</p> <p>4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p>
	<p>○教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組を行う。</p> <p>①校内 OJT の推進と充実。 ②管理職による授業観察。</p>	<p>①若手とベテランのペアによる OJT 指導の実施。 ①研修成果の共有化（研究授業参観を中心とした成果報告の実施）。 ②日常的な授業観察＋定期的な授業観察の実施。</p>	<p>①研修成果の報告状況</p> <p>4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p> <p>②管理職の授業観察状況</p> <p>4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p>	<p>①②教員アンケート「授業力の向上」の回答</p> <p>4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p>
	<p>○いじめや不登校の予防や解決のための、組織的な取組を行う。</p> <p>①全教員の共通認識・理解による問題行動の未然防止・解決。 ②区教委、外部機関と連携し、迅速かつ適切に対応する。</p>	<p>①いじめ・不登校の実態を把握する連絡会議を月 1 回実施し、適切な指導を即時行う。 ①週 1 回の生活指導朝会、年 3 回の児童理解の会により、全教員が全児童の顔・氏名・実態を把握し、共通理解のもとで指導にあたる。 ②連絡会議で把握した案件はすべて区教委へ報告し、連携しながら解決にあたる。</p>	<p>①連絡会議開催状況</p> <p>4 月 1 回＋適宜 3 月 1 回 2 隔月 1 適宜</p> <p>①生活指導朝会等開催状況</p> <p>4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p> <p>②報告状況</p> <p>4 100% 3 80%以上 2 70%以上 1 60%未満</p>	<p>①児童アンケート「相談しやすい、仲良く楽しい学校生活」の回答</p> <p>4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p> <p>①②保護者アンケート「楽しい学校生活、相談や悩みへの対処」の回答</p> <p>4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p>
<p>生活指導等</p>	<p>○基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育の充実を図る。</p> <p>①「墨田区でイチバン・カッコイイ小学生になる作戦」を実施する。 ②基本的な生活習慣の徹底を図る。 ③道徳授業を通して、心の教育の充実を図る</p>	<p>①校長のリーダーシップによる、「墨田区でイチバン・カッコイイ小学生になる作戦→グー（粘り抜く）、チョキ（いつもニコニコ、いじめはダメ）、パー（パーッとあかるく元気にあいさつ）」を前期中心に展開する。 ②学校生活の基本「四吾小のよい子のきまり」の周知徹底。 →長期休業明けに生活指導リズムチェックを実施（年 3 回）し、規則正しい生活習慣の定着を目指す。 ③毎週の道徳授業を中心に、互いの人権を尊重する心を養う。</p>	<p>①作戦の展開状況</p> <p>4 講話等で月 1 回以上とりあげる 3 隔月 2 3ヶ月に 1 回程度 1 それ未満</p> <p>②実施状況</p> <p>4 100% 3 80%以上 2 70%以上 1 60%未満</p> <p>③道徳授業実施状況</p> <p>4 100% 3 80%以上 2 70%以上 1 60%未満</p>	<p>①②児童アンケート「相談しやすい、仲良く楽しい学校生活」の回答</p> <p>4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p> <p>①②保護者アンケート「相談や悩みへの対処」の回答</p> <p>4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p> <p>②保護者アンケート「基本的な生活習慣の定着」の回答</p> <p>4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p> <p>③保護者アンケート「道徳、心の教育」の回答</p> <p>4 80%以上 3 70%以上</p>

様式 2

				2 60%以上 1 60%未満
	<p>○児童の健康・安全を確保するための各種取組を行う。</p> <p>①健康・安全な生活環境づくりの推進。</p> <p>②食育・アレルギー対策の充実。</p> <p>③防災教育の実施。</p>	<p>①月1回の保健指導・安全指導の確実な実施。</p> <p>②食育の充実を図り、残菜率の常時5%以下を目標とする。</p> <p>②アレルギー対象児童は、年1回の保護者面談を実施。組織的な対応の徹底を確認する。</p> <p>③戦災・震災の教訓をふまえた平和学習を年間1回実施する。</p> <p>③学校独自の防災体験教室やPTA主催の防災お泊まり会を実施する。</p>	<p>①②③実施状況</p> <p>4 100%</p> <p>3 80%以上</p> <p>2 70%以上</p> <p>1 60%未満</p>	<p>①②③保護者アンケート「児童の安全に関する取組」の回答</p> <p>4 80%以上</p> <p>3 70%以上</p> <p>2 60%以上</p> <p>1 60%未満</p>
	<p>○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営の徹底を図る。</p> <p>①分掌組織内でのOJT推進。</p> <p>②教育活動の適切な実施状況を確認する。</p> <p>③主任・主幹の経営参画意識を高める。</p>	<p>①OJTが円滑に進む、職層を意識した組織(複数人員担当制)を編成する。</p> <p>②毎週、校長・副校長2名で週案簿を確認し、教育活動の適切な実施を確認・指導する。</p> <p>③教員の特性・力量を勘案しながら、主幹・主任に学校運営に関わる責任ある役割を与え、参画意識と職務遂行能力の向上を図る。</p>	<p>①OJT実施状況の報告・確認状況</p> <p>4 週1回</p> <p>3 隔週1回</p> <p>2 月1回</p> <p>1 それ未満</p> <p>②週案簿提出状況</p> <p>4 100%</p> <p>3 80%以上</p> <p>2 70%以上</p> <p>1 60%未満</p> <p>③役割を与える主幹・主任の割合(対象9名)</p> <p>4 80%以上</p> <p>3 70%以上</p> <p>2 60%以上</p> <p>1 60%未満</p>	<p>①②③教員、保護者アンケート「組織的な学校経営」の回答</p> <p>4 80%以上</p> <p>3 70%以上</p> <p>2 60%以上</p> <p>1 60%未満</p>
<p>学校の管理運営</p>	<p>○適切な教育目標・学校経営計画の設定及び評価を実施する。</p> <p>①児童の実態・区の施策等に即した教育目標・経営計画の設定。</p> <p>②学校経営計画に即した評価項目の設定と実施。</p>	<p>①外部評価、各アンケートを総合的に分析し、毎年度末に次年度目標及び経営計画現化策を再設定する。</p> <p>②学校経営計画と評価項目の整合性を毎年点検・改善する。</p> <p>②児童、保護者、教員アンケート及び外部評価(学校関係者評価)を適切に実施・分析し、学校経営の改善に資する。</p>	<p>①②学校経営計画、各評価項目の点検・改定状況</p> <p>4 双方とも毎年実施</p> <p>3 双方とも隔年実施</p> <p>2 どちらかを毎年実施</p> <p>1 どちらかを隔年実施</p>	<p>①教員、保護者アンケート「経営計画の策定、評価の実施」の回答</p> <p>4 80%以上</p> <p>3 70%以上</p> <p>2 60%以上</p> <p>1 60%未満</p>
	<p>○教育環境・施設設備等の整備状況の把握と改善を行う。</p> <p>①教室環境・施設設備の安全確認の徹底。</p> <p>②施設設備の有効利用の促進。</p>	<p>①月1回の施設安全点検の徹底(管理職が自らの目で最終確認を行う)。</p> <p>②教室・施設の整理整頓を毎月点検・整備する。</p> <p>①②修理・改修が必要な施設については、管理職がその状況や理由を役所担当者に直接説明し、迅速な改善を図る。</p>	<p>①②安全点検実施状況</p> <p>4 月1回+適宜</p> <p>3 月1回</p> <p>2 隔月</p> <p>1 適宜</p>	<p>①②教員、保護者アンケート「安全管理・環境整備」の回答</p> <p>4 80%以上</p> <p>3 70%以上</p> <p>2 60%以上</p> <p>1 60%未満</p>
	<p>○職員の心身の健康を守る労働環境づくりのを推進する。</p> <p>①超過勤務時間縮減の推</p>	<p>①出退勤時刻の記録を分析・提示し、超過勤務月40時間以内の実現を目標とする。</p>	<p>①超過勤務実態の状況(40時間以内の割合)</p> <p>4 90%以上</p> <p>3 80%以上</p>	<p>①②③教員アンケート「健康・安全に働ける環境づくり」の回答</p> <p>4 80%以上</p>

様式 2

	<p>進。 ②育児休業取得の推進。 ③メンタルチェックの実施。</p>	<p>②男女を問わずに育児休業を取得しやすい協働的な職場環境・体制の実現を目指す。 ③メンタルチェック（年1回実施）の結果を分析し早期発見に努め、必要に応じて早期受診を勧める。</p>	<p>2 70%以上 1 70%未満 ③面談等の実施状況 4 半年に1回以上 3 1年に1回以上 2 適宜 1 未実施</p>	<p>3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p>
	<p>○学校に関する情報を積極的に発信する取組を行う。 ①学校便り、学校HP、各学級通信等を通して、学校情報を発信する。</p>	<p>①学校便りの充実を図る。 ◇紙媒体とHP保護者ページでの公開を併用する。 ◇写真等を活用し学校生活の様子を可視化する。 ①毎週1回、全学級で学級便りを発行する。 ①HP掲載内容の充実を図るとともに、月2回以上の更新をする。</p>	<p>①各種たより・HPでの情報提供頻度の状況 4 目標の90%以上 3 80%以上 2 70%以上 1 70%未満</p>	<p>①保護者アンケート「情報発信、開かれた学校づくり」の回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p>
家庭・地域連携	<p>○保護者や地域の理解・協力を得た教育活動を推進する。 ①大学連携の開始。 ②地域連携学習の再開。 ③PTA行事の再開支援。</p>	<p>①高学年では、IU大学、千葉大学との連携授業を各1回実施。 ②中低学年では、キラキラたちばな商店街との連携授業、まちおこし事業者（けんだま教室等）との連携授業を実施。 ③PTA・地域行事開催への協力と参加。</p>	<p>①②各授業の年間実施状況 4 全学年1回以上 3 全学年1回実施 2 一部学年のみ実施 1 実未実施 ③PTA活動への協力・参加実施状況 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p>	<p>①②③児童、保護者アンケート「地域での学習」の回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p>
	<p>○幼保小中一貫教育の推進。 ①研究授業を含めた新計画の完全実施。 ②児童・生徒連携の充実。</p>	<p>①連携校で年3回の授業公開（10月は本校にて授業公開）を実施。 ◇幼保園との交流（学校見学、保護者会での説明等）の再開。 ②中学校での体験授業（2回以上・部活体験含む）の再開。 ◇あいさつ運動、育成委員会事業等での交流。職場体験の受け入れ等。</p>	<p>①②連携事業の実施状況 4 計画の100% 3 80%以上 2 70%以上 1 60%未満</p>	<p>◇保護者アンケート「幼保小中の連携」の回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満</p>